

# 2021年度 自己評価計画書

星稜高等学校

| 具体的取り組み   | 現 状  | 評価の観点<br>達成度判断基準                                       |
|---|--|--|
| <b>教務課</b>  |  |  |
| 業務の効率化をさらに進める。  | 教務システム入替に向けて進行中または準備中である。  | 努力指標<br>A：確実にできた<br>B：概ねできた<br>C：やや不十分だった<br>D：不十分だった  |
| ミスが起こらない環境づくり、システム運用を行う。また、情報共有を確実に言い仕事の無駄をなくす。   | 成績処理や欠席処理などの業務におけるミスが毎年数件発生している。情報共有や確認作業を確実に言い、ミスをなくす。  | 努力指標<br>A：確実にできた<br>B：概ねできた<br>C：やや不十分だった<br>D：不十分だった  |
| 新学習指導要領の改訂に伴い、それに対応する学習評価方法を構築する。   | 3観点をどのように評価し、評定につなげるかを現在検討中である。  | 努力指標<br>A：確実にできた<br>B：概ねできた<br>C：やや不十分だった<br>D：不十分だった  |
| <b>進路指導課</b>  |  |  |
| 生徒、保護者の進路希望を把握し、正確な進学情報を共有できる環境を整える。説明会等に積極的に参加し、各学年・コースに応じた最新の進学・入試情報を得て、教職員と共有できるようにする。 | 保護者アンケートの「必要な進路情報が提供されている」の回答「当てはまる」・「どちらかと言えば当てはまる」の合計が60%を下回っているため、不十分である。   | 満足度指標<br>A：70%以上<br>B：65%以上<br>C：60%以上<br>D：60%未満      |
| 生徒、保護者の進路希望が実現するように努力する。難関国立大学、難関私立大学、医学部医学科、地元国公立大学の合格者数を増やす。                            | 昨年度は、難関国立大学 1名、難関私立大学 120名、医学部医学科 3名、地元国公立大学（石川県・富山県）85名であった。  | 成果指標<br>A：3項目以上が増加<br>B：2項目が増加<br>C：1項目が増加<br>D：4項目が減少 |
| 生徒、保護者の進路希望で最も多い国公立大学の合格者数が増えるように努力する。現役での国公立大学合格者150名以上を目標とする。                           | 例年、約400名の生徒が国公立大学への進学を希望している。昨年度の合格者は113名であった。   | 成果指標<br>A：150名以上<br>B：100名以上<br>C：50名以上<br>D：50名未満     |
| <b>生徒指導課</b>  |  |  |
| あいさつ運動を更に推進することにより生徒の自発的な挨拶を促し、教職員や外部の方々との爽やかな交流を通して、笑顔の溢れる学校生活の場を築く。                     | 昨年度は、生徒自らが積極的に挨拶を行うための「あいさつ運動」を年間通して実施することができたが、学校生活アンケートによる自己評価では、「できている。」・「概ねできている。」と回答した生徒は、併せて93%であった。                         | 努力指標<br>A：できた<br>B：概ねできた<br>C：やや不十分だった<br>D：不十分だった     |
| 通学マナーを向上させながら、地域に貢献できる指導を目指す。   | ＊自転車通学マナー向上の為に自転車安全教室を実施する。<br>＊地域・警察連携によるヤングイーグル隊の活動を実施する。<br>＊県ライオンズクラブとの連携による、グッドマナーキャンペーン活動を実施する。<br>＊意識を高めるための自己評価アンケートを実施する。 | 努力指標<br>A：できた<br>B：概ねできた<br>C：やや不十分だった<br>D：不十分だった     |

| 具体的取り組み  | 現 状  | 評価の観点<br>達成度判断基準  |
|--|--|---|
| <b>総務課</b>   |  |   |
| <p>学校諸行事の運営が円滑に進み、支障のないように、各学年、各課と綿密に連絡を取り、事前準備を進める。</p> <p>*入学前オリエンテーション *入学式<br/>*後援会総会 *保護者対象説明会<br/>*保護者懇談会 *推薦入試・一般入試<br/>*専願合格者説明会 *卒業式 *入学説明会<br/>*机・椅子の移動</p>  | <p>毎年の申し送り事項の確認、スタッフアンケート結果を踏まえて準備と運営をしている。</p>  | <p>努力指標</p> <p>A：確実にできた<br/>B：概ねできた<br/>C：やや不十分だった<br/>D：不十分だった</p> |
| <b>特活課</b>   |  |   |
| <p>生徒会活動および委員会活動において生徒の自主性・主体性を重んじ、活発に活動が行われるように支援する。</p>  | <p>生徒会活動は、役員、執行部の生徒及び各委員会委員長が自ら企画した新たな取り組みを行うことができ、活発な活動が行われつつある。お昼休みに放送を利用した情報配信も開始した。</p>  | <p>努力指標</p> <p>A：確実にできた<br/>B：概ねできた<br/>C：やや不十分だった<br/>D：不十分だった</p> |
| <p>各部がそれぞれの目標を設定し、目標に向かって努力できる環境を整える。部活動加入率 70%以上を目指し、文武両道の実現を図る。</p>  | <p>昨年度の部活動加入率は 75.1%であった。新入生を対象に部活動のPRを効果的に行うと共に、各部が大会等の目標設定とプロセスを大切にすることで、より魅力的な活動となるように支援したい。</p>  | <p>成果指標</p> <p>A：70%以上<br/>B：65%以上<br/>C：60%以上<br/>D：60%未満</p>      |
| <p>自己の健康課題について認識させ、個別の保健指導を実施する。視力・聴力および歯科検診の受診率向上を目指し、保健だよりにクラス毎の受診率を掲載する等、受診意識向上に繋げていく。</p>  | <p>昨年度の受診率は検尿 85%、内科検診 94%、胸部 X 線、心臓検診 100%であった。上記を除く視力・聴力および歯科で受診率が低い状況となっている。</p>  | <p>成果指標</p> <p>A：50%以上<br/>B：45%以上<br/>C：40%以上<br/>D：40%未満</p>      |
| <b>広報課</b>   |  |   |
| <p>世界で活躍する個性豊かな星稜生に“成長する”ことをイメージした「GROW! SEIRYO」のスローガンのもと、一貫理数コース、ICT教育、土曜 GSP 等の取り組みや、昨年度よりスタートした Web 出願や推薦入試の更なる周知に加え、総合寮「GROW DORM」の完成をアニメーションによるテレビCMを活用し、県外の方々にも広く親しみを持って受け止めていただき、ハード面もソフト面も進化し続ける星稜の今をタイムリーに伝え、北陸私学の雄としてのブランディングを確固たるものとする。</p> | <p>コロナ禍であっても、旧 3 年生と再受験生が星稜生としての底力を見せ、優れた進学実績を残してくれたため、春のテレビCMのテロップをはじめ、学校案内や星稜 Times、地元月刊誌や富山バス内ポスター等について魅力溢れる内容で鋭意制作予定である。学校見学会の企画については、今後の社会状況を見ながら検討していく他ない。</p> | <p>努力指標</p> <p>A：確実にできた<br/>B：概ねできた<br/>C：やや不十分だった<br/>D：不十分だった</p> |